

町民の皆様へ

～ 災害の教訓から備えを ～

令和2年7月豪雨により犠牲となられました方々に哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われたすべての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

7月に発生した未曾有の豪雨災害により、河川の越水や土砂崩れが各所で発生し、町内全域で2,000件を超える家屋の被害や1,000ヶ所に上る道路や河川の被害など、甚大な被害が発生しました。災害により普段の生活が一変し、自然災害に対する意識を大きく変えるものとなりました。




令和3年3月
芦北町長 竹崎 一成

今後は復旧・復興に向けて令和3年を「復興元年」と位置付け、時代に即した「新しいあたりまえ」に基づく創造的復興の実現に向け、スピード感をもって取り組んで参ります。

令和2年5月に、皆様に配布いたしました「芦北町総合防災マップ」を補完するため、河川の浸水想定区域を最大規模反映した「芦北町総合防災マップ（修正版）」を作成しました。地域や家庭で浸水区域や避難所等を確認いただくとともに、出水期等の「早期避難」にご利用ください。

1 総合防災マップ（修正版）について

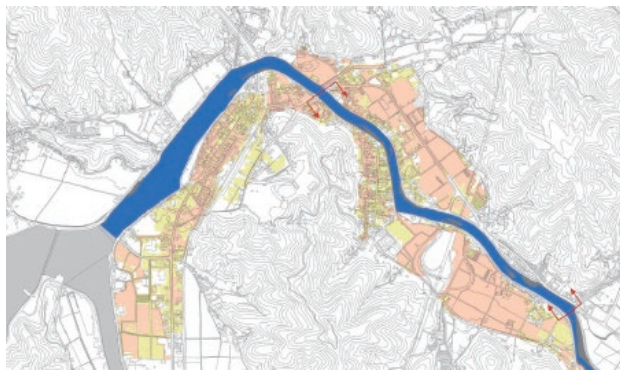
配布済みの総合防災マップでは、30年に1度の雨量を想定した浸水想定区域図を使用していますが、「総合防災マップ（修正版）」では、想定される最大規模（1,000年に1度）の浸水想定区域図を反映し作成しています。

今回、対象となる河川は県が管理する4河川（佐敷川・田浦川・小田浦川・湯浦川）となります。また、地図上にで囲まれた区域については、洪水による浸水想定区域を示しています。

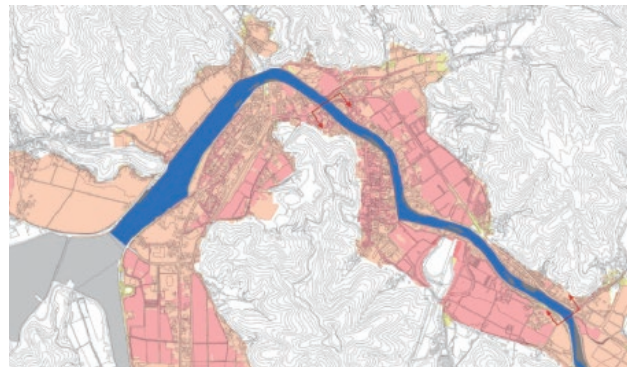
なお、土砂災害警戒区域等については変更ありません。

2 参考図（県浸水想定区域図）

総合防災マップ



総合防災マップ（修正版）



発行：芦北町（問い合わせ：総務課 0966-82-2511）
制作・著作：株式会社ゼンリン熊本営業所
作成：令和3年3月

「この地図の作成にあたっては、芦北町長の承認を得て芦北町基本図及び管内図を使用したものである。（承認番号 芦総第1414号・平成28年10月28日）」
「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。（承認番号 平29情使、第444-1268号）」